

平成24年度第3回指定管理者選定評価委員会会議概要

- 1 対象施設 モヤヒルズ・青森市八甲田ふれあい施設・青森市合子沢記念公園
- 2 開催日時 平成24年10月12日(金) 10:00~12:00
- 3 開催場所 青森市役所第3庁舎1階会議室
- 4 出席者

- (1) 選定評価委員
- | | |
|-----|------------------------|
| 委員長 | 工藤 清泰 (市長公室理事) |
| 委員 | 成田 聖明 (農林水産部次長) |
| 委員 | 相馬 政人 (市民生活部次長) |
| 委員 | 河野 秀孝 (青森公立大学教授) |
| 委員 | 佐々木 信一 (東北税理士会青森支部税理士) |

- (2) 施設所管課(事務局)
- | | | |
|-------|----|-------|
| 農業政策課 | 所長 | 松浦 貢 |
| | 技師 | 田中 幸 |
| 農地林務課 | 課長 | 平野 一彦 |
| | 主幹 | 対馬 圭三 |
| | 主査 | 成田 隆雄 |
| 観光課 | 主幹 | 澤谷 泰樹 |
| | 主査 | 藤田 信弘 |
- (3) 制度所管課
- | | | |
|-------|----|--------|
| 市民政策課 | 参事 | 相馬 紳一郎 |
| | 主幹 | 福島 清裕 |
| | 主事 | 田中 浩司 |

- 5 欠席者 鈴木 裕司 副委員長(総務部次長)
- 増田 一 委員(企画財政部次長)
- 石澤 幸造 委員(経済部理事)

- 6 議題 指定管理者候補者選定に係る審査
- 7 会議概要

最初に委員長より、公正・公平性の確保のために、施設所管課の担当次長は採点の審議には参加せず、事務局として参加していただく旨の意見が出され、委員から異議無く了承された。(成田委員は事務局として参加)

- (1) 応募資格

事務局より、各応募団体が応募資格の要件を満たしていることを確認し、その内容を報告した。

委員：青森市観光レクリエーション振興財団は、どのような法人形態か。

事務局：元々は財団法人だが、来年度から一般財団法人への移行に向けて作業中です。

(2) 選定基準による審査

【収支計画】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、各応募団体の申請内容を説明。

委員：B者の収支計画において、3施設でバラつきがあるが、事務局としてはどのように考えているか。

事務局：B者の収支計画は、青森市八甲田ふれあい施設と青森市合子沢記念公園において赤字となっており、モヤヒルズを含め全体で調整する形となっている。事務局としては、全体としては問題ないが、個々の施設で見た場合には、これは良くないと考えております。

【管理運営方針】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、各応募団体の申請内容を説明。

(質疑なし)

【地域や関係団体との交流、協力に対する考え】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、各応募団体の申請内容を説明。

(質疑なし)

【地元雇用への配慮】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、各応募団体の申請内容を説明。

委員長：B者の地元雇用の配置は何割程度か。

事務局：B者からは、実際に採用募集をかけた際に地元の人がどれくらい応募してくるかわからないことから、何割ということは得られませんでした。

【業務員の配置計画】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、各応募団体の申請内容を説明。

(質疑なし)

【業務員の研修計画】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、各応募団体の申請内容を説明。

委員：B者について、社内資格を有する者に対してなにか優遇はあるのか。

事務局：とくにはないと聞いています。

委員：A者はそういう制度はないのか。

事務局：ありません。

【施設管理計画】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、各応募団体の申請内容を説明。

委員長：A者、B者とも提案の業務内容のほかに足りない業務内容はないか。

事務局：大丈夫です。

委員長：B者の再委託業務について口頭での確認の金額ということであったが、見積書なしで、その金額を信じるしかないのか。

事務局：他に材料がないのでそういうことになります。

【防犯、防災、緊急時の対応に関する取組み】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、各応募団体の申請内容を説明。

委員長：B者の申請書の25ページにある「リスクマネジメント委員会」というのはどういうものか。

事務局：モヤヒルズ・青森市八甲田ふれあい施設・青森市合子沢記念公園以上3施設だけでのリスクマネジメントではなく、同者で管理している他の施設や同者の業務も含め、全体でのリスクマネジメントを行っていくことと聞いています。

委員：こういう施設には医者や看護師の常駐はできないのか。

事務局：現状では厳しいですが、現在は救護班を置いて応急処置を行えるような体制にはなっております。

【個人情報保護の取扱いに関する取組み】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、各応募団体の申請内容を説明。

(質疑なし)

【環境保全、負荷低減への取組み】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、各応募団体の申請内容を説明。

委員長：B者の提案で、井戸水のくみ上げやLEDへの交換についての費用は別途協議とあるが、事務局ではどのように考えているのか。

事務局：現段階で費用対効果というのが見えていないので、効果が費用を上回るのであれば検討したいと思っています。

【市民の平等な利用を確保するための方針】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、各応募団体の申請内容を説明。

委員：モヤヒルズには障害者トイレはあるのか。

事務局：ヒルズクラブ1階にあります。

委員長：B者の提案である「分煙の徹底」というのは施設の構造上可能か。

事務局：ヒルズクラブに関しては吹き抜け多い建物なので新たに壁が必要となります。また、建物の外だけの分煙という方法はあると思います。

【市民の平等な利用を確保するための方針】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、各応募団体の申請内容を説明。

委員：モヤヒルズには障害者トイレはあるのか。

事務局：ヒルズクラブ1階にあります。

委員長：B者の提案である「分煙の徹底」というのは施設の構造上可能か。

事務局：ヒルズクラブに関しては吹き抜け多い建物なので新たに壁が必要となります。また、建物の外だけの分煙という方法もあると思います。

【利用者等の要望の把握と反映方法】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、各応募団体の申請内容を説明。

委員：A者の提案で、重大な案件については市と協議とあるが、これまでに重大な案件での協議というのはあったか。

事務局：現管理者からの協議としては、リフト券やサービス券の取扱い等の協議はあります。

【サービス向上の対策】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、各応募団体の申請内容を説明。
(質疑なし)

【少雪など天候不良時のモヤヒルズスキー場の対応】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、各応募団体の申請内容を説明。

委員長：B者の提案に具体的なものはないのか。

事務局：具体的にはまだなく、これから雪がなくてもできる事業等を検討していくということです。

【来場者を増加させるためのPR及びイベントの実施計画又は自主事業】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、各応募団体の申請内容を説明。

委員長：A者の提案しているイベント等でなにかこれまでになかった新しいものはあるのか。

事務局：基本的に今までのイベント等を継続していく内容になっております。ただ、これまで青森市観光コンベンション協会雲谷支部で行っていた「雲谷かがり」について、同支部が今年度で解散することから、それをA者が引き継いで行うという提案は新しくされております。

委員：A者はいろいろイベントを提案しているが、各イベントについては実施後にリサーチしているのか。

事務局：現管理者についてということで回答しますと、イベント毎に口頭で意見を集め、イベント内容の微調整という形は行っています。

委員：結果のリサーチというのを、行政でもしっかり評価して、それをフィードバックしてほしい。

委員：観光バスを呼び込むということを行政として考えてはいないのか。例えば、田沢湖の近くには「森のはちみつ屋」という施設があり、ここは平日でも混雑しており、観光バスをとめる場所になっている。ぜひ参考にしてほしい。

【同種の施設管理業務の実績】

事務局より、選定基準、市の水準、審査の着眼点、各応募団体の申請内容を説明。

(質疑なし)

(3) 審査結果

委員長：採点を集計した結果、青森市観光レクリエーション振興財団が117.38点、B者が92.51点でありました。

青森市観光レクリエーション振興財団が最高得点となり、最低得点76点を上回っているため、青森市観光レクリエーション振興財団が指定管理者候補者として選定してよろしいか。

委員：(全員、異議なし)

委員長：それでは、青森市観光レクリエーション振興財団をモヤヒルズ・青森市八甲田ふれあい施設・青森市合子沢記念公園の指定管理者候補者として選定する。